

令和元年度 洋光台地域ケアプラザPDCAシート\_公表用(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

住宅地(集合住宅と戸建て)と洋光台駅周辺の商業地からなり、高齢化率が磯子区の平均を上回る31.6%となっています。高齢者世帯(単身世帯を含む)の割合も高く、見守り支援など地域での支えあいの体制が課題となっています。こうした状況の中で、高齢者の食事会や交流サロン、認知症カフェなど、地域での活動が活発に展開されています。また、坂道が多くエレベーターのない集合住宅も多いことから、高齢者や障害者の行動を制限する要因にもなっています。一方、集合住宅等には若い世代も多く、子育て支援や世代間交流の機会も必要となっています。この点についても、プレイパーク等の地域ぐるみの子育て支援や世代間交流を目的とした様々な活動が展開されています。一方で担い手不足の状況もあり、新たな担い手の育成も課題となっています。

地域ケアプラザとしてこうした地域課題の解決に向けた活動の支援はもとより、個別相談での支援、また、解決に向けた自主企画事業に取組んでいきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症に関する正しい知識の普及を目的に、地域住民や企業・小中学校等を対象に認知症サポーター養成講座を実施します。 地域のキャラバンメイトである「劇団ポレポレ」の活動を支援し、地域の「場」(CCラボ等)を活用した認知症サポーター養成講座開催にむけ、「住民同士が交流する場」につながるよう一緒に考えていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	『洋光台における在宅看取り』をテーマに包括レベル地域ケア会議を開催し、地域の現状や課題について住民の方を含む多職種で検討します。ケースの選定から事前準備、当日の担当まで、地域包括支援センターだけではなく、地域ケアプラザ全体で取り組みます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域活動を行う住民のネットワークづくりとして行っている「地域活動ネットワーク・洋光台“わっふる”」で、定例会を月1回、地域活動交流会を年2回開催します。安心して暮らせる住みよい街を目指すことを目的に、お互いの活動の情報交換を行い、各々が抱える問題や地域課題等について話し合います。 活動の地域への情報提供の場として、ポスター展(年1回)を企画し、情報誌“わっふる”(年4回)とイベント情報カレンダー(毎月)を発行します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	高齢者の移動に関する課題解決を目的に、磯子区社会福祉協議会移動情報センターと共催で「外出・付き添いサポーター講座」を開催します。実際の活動に繋がるよう、前回の参加者のフォローアップを兼ねて行います。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

振り返りの内容を入力する欄です。

区からのコメント

区からのコメントを入力する欄です。